

WAT-NeW では 2 ヶ月に 1 回、WAT-NeW 参画機関間の情報共有を目的とし、メール配信を行っております。本メールは WAT-NeW 世話人、運営委員の先生方、また事務ご担当の皆様へ BCC にてお送りしております。

貴学の研究者の皆様へ、ご周知頂けましたら幸いです。



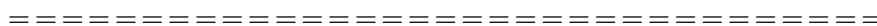
WAT-NeW メールマガジン vol. 16

2017. 1. 18



◆今号でお知らせする内容

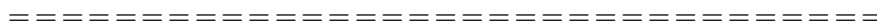
- ト【1】トピック
- ト【2】WAT-NeW 限定グラント・アワード情報
- ト【3】イベント情報



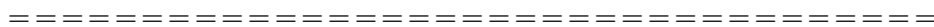
【1】トピック

「革新医薬の First in human 治験と実用化に関する一考」

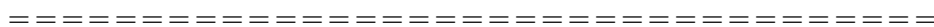
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 教授 小賤健一郎



私自身は、癌遺伝子治療の First in human の医師主導治験を本年度本学で開始し、WAT-NeW シーズ A でご支援頂いた肝再生医薬シーズを非臨床試験へと進めるところです。革新医薬を開発・実用化していくためには、1)実用化を見据えた研究開発・知財戦略、2)治験、3)技術移転活動、4)実用化を見据えた GMP 製剤製造、が重要と感じます。1)は、本活動・成果の正確な評価、特許取得への知財対応能力、海外民間企業への適切な契約能力、特許維持経費など、大学組織の役割・責任も重大です。2)3)は、ARO のない地方大学では、WAT-NeW のご支援が今後益々重要になります。4)の GMP 製造は、研究者にとってはハードルが高い事項です。我々はコンサルタントも活用し、海外の専門の受託製造施設(CMO)で製剤製造しました。GMP 製造には高度な専門性を要求されますが、大学施設で実用化レベルの GMP 製剤を開発していくのは困難です。特殊な遺伝子治療などは、特定の大学に所属しないナショナルセンターの CMO を本邦に一箇所作って、経費・設備・人的資源を集約して公正に運営すること (AMED 課題を優先など) が理想だと思います。さらにバイオ製剤の GMP 製造開発を実用化レベルで計画・管理できる人材はアカデミアには限られますので、ネットワーク事業で整備・ご支援頂ければと願っています。



【2】WAT-NeW 限定グラント・アワード・その他 情報



本公募は九州大学 WAT-NeW 事務局が窓口となり、開発のサポートをさせて頂く予定です。詳細・その他の情報につきましては、WAT-NeW ウェブサイトよりご確認頂きますようお願い申し上げます。多くのご応募をお待ちしております。

【株式会社タウンズ】

■新規開発の超高感度発色用キットの優位性評価

対象：既存の発色試薬にて検出感度が足りず、更に高感度検出を実施したい研究者

詳細：<http://wat-new.org/archives/1152/>

【株式会社 先端医療開発】

■脂溶性低分子化合物をお持ちの方で機能性の向上を目指す研究者
【詳細】 <http://wat-new.org/archives/861/>

=====
【3】 イベント情報
=====

■PI (Principal Investigator) 新規認定講習会 ◆新規認定者対象◆
日時：平成 29 年 2 月 1 日 (水) 13:00~18:00 (※終了時間は予定です)
場所：九州大学病院 臨床小講堂 1
詳細： <http://wat-new.org/archives/1249/>

■九州大学 EDGE プログラム ミニシンポジウム (仮題)
日時：平成 29 年 2 月 27 日 (月) 17:00~19:15
場所：九州大学 病院キャンパス 基礎研究 A 棟 第一講義室
詳細： <http://wat-new.org/archives/1263/>

■九州大学 ARO 次世代医療センター 国際 TR シンポジウム (仮題)
日時：平成 29 年 3 月 28 日 (火) 午後
場所：九州大学 病院キャンパス コラボステーション I 視聴覚ホール (予定)
詳細： <http://wat-new.org/archives/1254/>

九州大学 ARO 次世代医療センター 橋渡研究推進部門 WAT-NeW 担当
〒812-8582 福岡県福岡市東区馬出 3-1-1
TEL : 092-642-4802 FAX : 092-642-4528
E-mail : info@wat-new.org URL: <http://wat-new.org/>
